



2019年4月3日

各位

不動産投資信託証券発行者名  
東京都千代田区麴町三丁目6番地5  
伊藤忠アドバンス・ロジスティクス投資法人  
代表者名 執行役員 東海林 淳一  
(コード番号 3493)

資産運用会社名  
伊藤忠リート・マネジメント株式会社  
代表者名 代表取締役社長 東海林 淳一  
問合せ先 経営管理部長 佐藤 直樹  
TEL:03-3556-3901

### 資産運用会社による「TOKYO働き方改革宣言企業」承認取得に関するお知らせ

伊藤忠アドバンス・ロジスティクス投資法人(以下、「本投資法人」といいます。)の資産運用会社である伊藤忠リート・マネジメント株式会社(以下、「本資産運用会社」といいます。)は、この度、東京都が創設した「TOKYO働き方改革宣言企業」制度に関し、宣言書を申請し、東京都より承認を受けましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 「TOKYO働き方改革宣言企業」の概要及び申請理由

「TOKYO働き方改革宣言企業」とは、従業員の長時間労働の削減や年次有給休暇等の取得促進について、2～3年後の目標と取組内容を宣言書に定め、全社的に取り組む企業等を指します。宣言書は東京都のホームページで公表されます。

本資産運用会社は、2019年1月24日に「サステナビリティに関する方針」を制定・公表し、伊藤忠商事株式会社が創業時より貫いている「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の精神を伊藤忠グループ企業の一員として踏襲しつつ、ESG(環境・社会・ガバナンス)への取組を推進しております。

こうした取組の一環として、本資産運用会社においては「従業員持投資口制度」の導入や「ノー残業デー」、カジュアルフライデーを一步進めた「ジーンズデー」の設定を行っておりますが、今般、本資産運用会社の社員が能力を最大限に発揮できる労働環境の一層の整備を進め、効率的かつ生産性の高い組織となることで、社員よし/会社よし/社会よしの「三方よし」を実現し、社会に支持される企業を目指すべく、宣言書を提出したものです。

本資産運用会社による宣言書の詳細につきましては、東京都のホームページに掲載された下記リンクをご参照ください。

<https://hatarakikata.metro.tokyo.jp/s3011/>

#### 2. 本投資法人のESGへの取組

本投資法人は本資産運用会社と共に、環境(Environmental)・社会(Social)・ガバナンス(Governance)に配慮した運用を実施し、中長期的な投資主価値の向上を図るため、サステナビリティ関連施策の実施を行なってまいります。

ESGに関する取組については、下記リンクをご参照ください。

本投資法人のホームページアドレス:<https://www.ial-reit.com/>

以上

## 資産運用会社におけるサステナビリティに関する基本方針

- サステナビリティ関連施策の本格推進のため、サステナビリティ方針を2019年1月に制定。
- 推進委員会を設置し、今後更にサステナビリティ関連施策の実施を進めていく。

**E** 環境

- 省エネルギー(脱炭素)・省資源の推進
- 環境認証の活用

**S** 社会貢献

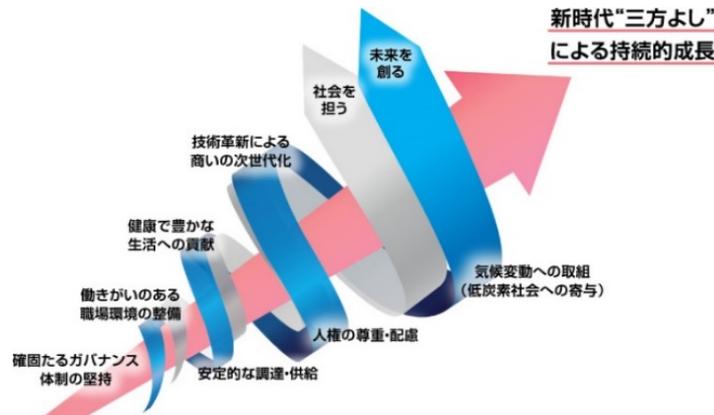
- 人材の育成注力 
- 人権尊重と働き方改革の推進
- 調達先とのサステナビリティ方針の共有
- テナント企業との連携
- 施設所在エリアを中心とした社会との共存

**G** ガバナンス

- 法令の遵守及び不正の防止
- 投資主等に対する適時的確な情報開示
- 伊藤忠グループ等の利害関係者との適切な関係構築

グループ企業の一員として踏襲

## 伊藤忠商事の三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)の精神



## 伊藤忠グループと連携したESGの取組みの推進を今後も積極的に推進

伊藤忠商事はサステナビリティ上の左記重要課題に本業を通して取組みます。社会の今と未来に責任を果たす伊藤忠商事の取組みは、「持続可能な開発目標(SDGs)」達成にも寄与しています。

# Tokyo働き方改革宣言



東京都知事 小池百合子 書

社員よし／会社よし／社会よしの「三方よし」を実現し、社会に支持される企業を目指すべく、社員が能力を最大限に発揮できる労働環境を整え、効率的かつ生産性の高い組織となるよう、働き方改革に取り組みます。

平成31年3月18日

伊藤忠リート・マネジメント株式会社

## 目標

### 働き方の改善

- ・業務の効率化を図り生産性の高い働き方を推進します。

### 休み方の改善

- ・社員がそれぞれの「ライフワーク・バランス」を実現出来るよう、多様な休暇取得制度を構築します。

## 取組内容

### 働き方の改善

- ・社員各自が常に自身の業務を見直すことにより、全社的な業務の効率化に取り組みます。
- ・会議の目的を明確にし、設定時間内に終了するよう意識付けを行います。

### 休み方の改善

- ・有給休暇の時間単位取得制度の導入を目指します。
- ・有給休暇の取得状況に常に注意を払い、取得率の低い社員に対しては休暇取得を奨励します。